

2025年度

別府大学大学院 入学試験要項

文学研究科

日本語・日本文学専攻（博士前期P.1～3・後期課程P.4）
史学・文化財学専攻（博士前期P.1～3・後期課程P.4）
臨床心理学専攻（修士課程P.1～3）

食物栄養科学研究科

食物栄養学専攻（修士課程P.1～3）

※外国人研究生、外国人科目等履修生に関しては入試広報課（P.2の5）まで問い合わせてください。

Admission policy

1. 文学研究科博士前期課程・修士課程

文学研究科博士前期課程（修士課程）は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、伝統的人文学領域の創造的継承と新しい学問領域の構築をめざすとともに、時代の要請に応え、地域の知識基盤社会を支える豊かな学識と実践能力を備えた有為な人材を育てることを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では、次のような学生を受け入れます。

- ①研究を遂行できる基礎的資質をもった学生
- ②探求への情熱をもち、知識修得の意欲と明確な研究目標をもつ学生
- ③地域社会を担うことへの強い関心と意欲をもつ学生
- ④国際的な視点で物事を考え、異文化への理解を深めたいと願う学生

このような本課程の受入れ方針に基づき、各専攻は以下のような学生を受け入れます。

(1) 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学における伝統の継承に強い意欲を持ち、それを対象とした研究を遂行できる資質をもつとともに、国際的な視野から日本語・日本文学を理解することを望む学生

(2) 史学・文化財学専攻

本専攻は、史学と文化財学の領域から構成されます。史学の領域では、日本における史学の伝統的な枠組みである、日本史・東洋史・西洋史のそれぞれの学問領域について基礎的知識を有し、歴史的専門知識の修得に意欲があり、研究を遂行できる基礎的資質を持った学生、文化財学領域では、考古学、環境歴史学、民俗学、観光地理学、文化財保存学、美術工芸、美術史など文化財に関する分野の調査・研究について学びたいという強い意欲をもち、それを遂行できるだけの学力をもっている学生。また同時に、それぞれの専門性を前提に領域を越えた融合をめざすことが特色となっていますので、広い領域への探求心をもった学生。

(3) 臨床心理学専攻

臨床心理学分野の研究遂行の基礎的資質とともに、心理援助の実践者（こころの専門家）となりうる資質を備えている学生。人間に対する暖かい関心をもち、冷静に率直に自分を見つめることができる学生

2. 食物栄養科学研究科食物栄養学専攻修士課程

食物栄養科学研究科は、21世紀における人類の健康的な生活を支援するため、最新の知識に基づいた生命、健康、食の科学と応用を総合化した教育と研究を行い、食、栄養、バイオテクノロジー等の高度な幅広い知識と技術を備えた有為な人材を育成することを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では、次のような学生を受け入れます。

- (1) 食・栄養や健康に強い関心を持ち、生命科学の基礎的な知識を有している人
- (2) 急速な高齢化社会の進展に対応できる「食と栄養」に関連した領域の高度専門職業人、研究者、教育指導者として活躍する意欲を有している人
- (3) 地域住民の医療・健康・福祉の向上ならびに地域社会および国際社会の発展に寄与する意欲を有している人

3. 文学研究科博士後期課程

文学研究科博士後期課程は、建学の精神「真理はわれらを自由にする」に基づき、博士論文の作成を通じて、研究者として自立して活動できる高度な研究能力と豊かな学識を養い、教育職や博物館・美術館などの専門職を目指す有為な人材を育成することを目的としています。このような目的を実現するために、本課程では以下のような学生を受け入れます。

- ①修士学位取得者およびそれに相当する能力をもつ人。
- ②本学の建学の精神を理解する人。
- ③高度でかつ専門的な研究に取り組む意欲のある人。

このような本課程の受入れ方針に基づき、各専攻は以下のような学生を受け入れます。

(1) 日本語・日本文学専攻

日本語・日本文学において独創性を持って真理の探究を遂行する能力があり、高度で専門的な研究に取り組む意欲のある人

(2) 史学・文化財学専攻

幅広い史学・文化財学のカテゴリーを前提に、学生には融合的、横断的に教育・研究を進めさせるとともに、専門領域研究を深化させ、その領域の研究をリードできる研究者の資質を有する学生。

大学院 博士前期・修士課程 入試要項

※博士後期課程はP.4参照

1. 研究科・専攻・定員

研究科名	専攻名	定員
文学研究科	日本語・日本文学専攻(博士前期課程)	10名(推薦および社会人若干名を含む)
	史学・文化財学専攻(博士前期課程)	10名(推薦および社会人若干名を含む)
	臨床心理学専攻(修士課程)	10名(推薦および社会人若干名を含む)
食物栄養科学研究科	食物栄養学専攻(修士課程)	10名(推薦および社会人若干名を含む)

2. 入試日程 ※社会人入試および、推薦入試受験者は試験開始の30分前までに集合

	推薦入試実施	出願期間	試験日	合格発表	手続締切日
1 期	日本語・日本文学専攻 臨床心理学専攻 食物栄養学専攻	2024年 8月13日(火)) 2024年 8月29日(木)	9月7日(土) 集合 9:00	9月21日(土) 10:00	10月3日(木) 15:00
2 期	史学・文化財学専攻 臨床心理学専攻	2025年 1月20日(月)) 2025年 2月3日(月)	2月17日(月) 集合 9:00	3月1日(土) 10:00	3月7日(金) 15:00
3 期 (秋入学) (外国人のみ)	—	2025年 6月9日(月)) 2025年 6月19日(木)	6月28日(土) 集合 9:00	7月5日(土) 10:00	7月17日(木) 15:00

※臨床心理学専攻は、3期入試を実施しない。

3. 出願資格

<一般入試(外国人を含む)> 下記の条件のいずれかに該当する者

- ①学校教育法に定める大学を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- ②外国において16年の学校教育を修了した者 ③文部科学大臣の指定した者
- ④短期大学および高等専門学校の専攻科修了者で学士の学位を修得した者
- ⑤その他、本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(※事前審査あり)
- ⑥外国人は日本語能力試験N1相当の能力を有する者

<社会人入試(外国人を含まない)> 下記の条件のいずれかに該当する者で、最終学歴を卒業、あるいは大学院を修了・退学後、社会人経験5年以上の者、またはこれに準ずる者

- ①学校教育法に定める大学を卒業した者
- ②外国において16年の学校教育を修了した者 ③文部科学大臣の指定した者
- ④その他、本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※出願資格の一般入試⑤、社会人入試④で出願を希望する者は各入試の出願開始1ヶ月前までに申請すること。

<推薦入試(外国人を含む)> 下記の条件をとともに満たす者で、下表に該当する者

- ①本大学院を専願とする者
- ②本学大学学部を卒業見込み、もしくは本学大学学部を卒業後5年未満である者

専攻	GPA	専攻	GPA
日本語・日本文学	2.5以上	臨床心理学	3.0以上
史学・文化財学	2.8以上	食物栄養学	条件なし

4. 出願手続

A 提出書類その他

<一般入試・社会人入試>

- ①願書（志願票・副票・受験票） ②出身大学（学校）の成績証明書 ③出身大学（学校）の卒業（見込）証明書 ④志望専攻に関する論文等（以下の表より）

専攻	提出書類
日本語・日本文学	卒業論文、研究論文の本文か要旨、もしくは志望専攻に関する研究計画書（要旨、研究計画書の字数は8000字程度）
史学・文化財学	卒業論文、研究論文の本文か要旨、もしくは志望専攻に関する研究計画書（要旨、研究計画書の字数は8000字程度）
臨床心理学	卒業論文の要旨と研究計画書（あわせて4000字程度）
食物栄養学	卒業論文、研究論文の本文か要旨、もしくは研究計画書（いずれも字数は特に指定しない）

- ⑤履歴書（現役は除く） ⑥受験票および合否通知発送用の切手（1,000円分を小袋に入れて同封） ⑦資格等取得者はその証明書の写し ⑧検定料30,000円（本学所定の願書、添付用紙）

<推薦入試>

- ①願書（志願票・副票・受験票） ②本学大学学部の成績証明書（教務課の窓口で申請したGPAの記載があるもの） ③本学大学学部の卒業（見込）証明書 ④志望専攻が必要とする書類（以下の表より）

専攻	提出書類
日本語・日本文学	指導教員の承諾書、研究計画書（書式・字数は自由）
史学・文化財学	卒業論文の概要と志望動機（書式は自由、4000字程度）、推薦書（卒業生の場合は現在の勤務先の所属長の推薦書でもよい）
臨床心理学	推薦書、卒業論文の要旨と研究計画書（あわせて4000字程度）
食物栄養学	指導教員の推薦書（卒業生の場合は現在の勤務先の所属長の推薦書でもよい）

- ⑤履歴書（現役は除く） ⑥受験票および合否通知発送用の切手（1,000円分を小袋に入れて同封） ⑦資格等取得者はその証明書の写し ⑧検定料30,000円（本学所定の願書、添付用紙）

B 出願上の注意：提出資料等を確認の上、提出して下さい（締切日必着）。

C 検定料の納入について：銀行にて振り込むこと（電信扱）。収納印を確認して下さい。

D 提出書類について：原則として返却しない。

5. 出願場所・試験会場・問い合わせ先 <一般入試・社会人入試共通>

①出願場所および問い合わせ先 〒874-8501 別府市北石垣82 別府大学 入試広報課

②試験会場 別府大学 TEL 0977-66-9666（直通）FAX 0977-66-4565

本学大学院への再入学・転入学を希望する者については、入試広報課に問い合わせること
提出書類については、〈一般入試・社会人入試〉に加え、大学院の成績証明書と在籍証明書を提出してください。

6. 試験内容

区分	専攻	外国語	専門科目	面接
		9:20~10:20	10:40~12:20	13:30~
一般入試 (外国人を含む)	日本語・日本文学	英語・中国語・フランス語・ドイツ語(以上辞書貸与)・日本語から母国語以外の1科目を選択。	日本文学(古典・現代)・日本語学を中心にして論述形式で基礎的な知識を問う。	有
	史学・文化財学	ただし、外国人は必ず日本語を選択 ※社会人は外国語の試験を課さない。	選択する分野の基礎的な知識を問う(史資料・文献の読解などを含む)。	
社会人入試 (外国人を含まない)	臨床心理学	英語(辞書貸与) ※社会人は外国語の試験を課さない。	基礎心理学・臨床心理学および関連領域に関する基礎的な知識を問う。	
	食物栄養学	英語(辞書貸与) ただし、外国人は必ず日本語を選択 ※社会人は外国語の試験を課さない。	栄養学と食品学(いずれか選択)に関する基礎的な知識を問う。	
専門分野	日本語・日本文学	①日本文学 ②日本語学		
	史学・文化財学	③日本中世史 ④日本近世史 ⑤東洋史 ⑥西洋史 ⑦アーカイブズ ⑧考古学 ⑨民俗学 ⑩観光地理学 ⑪文化財保存学		

区分	専攻	外国語	専門科目	口頭試問
			10:40~12:20	13:30~
推薦入試 (外国人を含む)	日本語・日本文学	/	/	口頭試問
	史学・文化財学			
	臨床心理学			
	食物栄養学			
専門分野	日本語・日本文学	①日本文学 ②日本語学		
	史学・文化財学	③日本中世史 ④日本近世史 ⑤東洋史 ⑥西洋史 ⑦アーカイブズ ⑧考古学 ⑨民俗学 ⑩観光地理学 ⑪文化財保存学		

- ※ 学内受験者は、受験に際して事前に**専門分野**について指導教員と相談して下さい。
- 学外受験者は、願書提出前に受付窓口または電話で**専門分野**について確認して下さい。
- ※ 公認心理師受験予定者は、学部での取得科目の確認を各自で行って下さい。
- ※ 専門分野については多少変更することがありますので、出願に当たってはお問い合わせ下さい。

- 7. 合否発表方法** 合否結果については、受験者宛に郵送する。
合否発表当日に限り、本学ホームページにて合否の照会が可能です。合格の最終確認は、正式な「合格通知」で必ず本人が行うようにして下さい。

8. 納入金/文学研究科(博士前・後期、修士課程)・食物栄養科学研究科(修士課程)

単位:円

研究科	入学金	授業料	教育研究料	*委託徴収金	計
文学	150,000	400,000	200,000	30,000	780,000
食物栄養科学	150,000	400,000	400,000	30,000	980,000

*委託徴収金(初年度のみ)…同窓会入会金20,000円、後援会費10,000円

大学院 文学研究科 博士後期課程 入試要項

1. 研究科・専攻・定員

研究科名	専攻名	定員
文学研究科	日本語・日本文学専攻	3名
	史学・文化財学専攻	3名

2. 出願資格 <一般入試（外国人を含む）・社会人入試（外国人を含まない）>

下記の条件のいずれかに該当する者

- ①修士の学位を有する者または2025年3月修士の学位を取得見込みの者
 - ②外国において修士の学位に相当する学位を授与された者 ③文部科学大臣の指定した者
 - ④その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（※事前審査あり）
- ※社会人とは、大学院を修了後、社会人経験5年以上の者、またこれに準ずる者
 ※出願資格④を希望する者は各入試の出願開始1ヶ月前までに申請すること。

3. 出願手続 <一般入試（外国人を含む）・社会人入試（外国人を含まない）>

A 提出書類その他

- ①願書（志願票・副票・受験票） ②最終学歴校の成績証明書
- ③最終学歴校の卒業・修了（見込）証明書 ④修士論文（写）・研究論文（写）
- ⑤履歴書 ⑥受験票および合否通知発送用の切手（1,000円分を小袋に入れて同封） ⑦検定料30,000円（本学所定の願書、添付用紙）

※本大学院博士前期課程からの進学者（修了予定者のみ）は①、⑥のみでよい。

B 出願上の注意：提出資料等を確認の上、提出して下さい（締切日必着）。

C 検定料の納入について：銀行にて振り込むこと（電信扱）。収納印を確認して下さい。

D 提出書類について：原則として返却しない。

4. 出願場所・試験会場・問い合わせ先（P.2の5に同じ）

5. 入試日程 ※社会人入試受験者は10：00集合

	出願期間	試験日	合格発表	手続締切日
1 期	実施しない			
2 期	2025年1月20日(月)	2月17日(月) 集合 9：00	3月1日(土) 10：00	3月7日(金) 15：00
	2025年2月3日(月)			
3 期 (秋入学)	2025年6月9日(月)	6月28日(土) 集合 9：00	7月5日(土) 10：00	7月17日(木) 15：00
	2025年6月19日(木)			

6. 試験内容

区分	専攻	外国語	専門科目	面接
		9：20～10：20	10：40～12：20	13：30～
一般入試 社会人入試	日本語・日本文学	英語・中国語・フランス語・ドイツ語・日本語から母国語以外の1科目を選択。ただし、外国人は必ず日本語を選択 ※社会人は外国語の試験を課さない。	日本文学（古典・現代）・日本語学に関する課題について論述形式で試験	有
	史学・文化財学		選択する専門分野に関連した科目（史資料・文献の読解を含む）	
専門分野	日本語・日本文学	①日本文学 ②日本語学		
	史学・文化財学	③日本中世史 ④日本近世史 ⑤東洋史 ⑥西洋中世史 ⑦アーカイブズ ⑧考古学 ⑨観光地理学		

※ 学内受験者は、受験に際して事前に**専門分野**について指導教員と相談して下さい。

学外受験者は、願書提出前に受付窓口または電話で**専門分野**について確認して下さい。

※ 出願資格④の場合には外国語の試験を課さないことがある。

学内受験者において、博士前期課程を社会人入試で受験し入学した者については外国語の試験を課さない。

※ 専門分野については多少変更することがありますので、出願に当たってはお問い合わせ下さい。

7. 合否発表方法 合否結果については受験者宛に郵送する。

合否発表当日に限り、本学ホームページにて合否の照会が可能です。合格の最終確認は、正式な「合格通知」で必ず本人が行うようにしてください。

8. 納入金（P.3の8に同じ）

大学院 教員紹介

文学研究科

〈日本語・日本文学専攻〉

氏名	専門分野	自己紹介
浅野 則子 [※]	古代和歌史	万葉集から古今集へと変容していく和歌表現が研究テーマです。変わっていくもの、変わらないものという両方面から分析しています。授業では古典文学の中で長い間中心的な位置にあった和歌を丁寧に読んでいくことでその時代の文学のあり方を考えています。
内山 和也 [※]	表現学、文体論、 応用言語学	日本語の文体や表現（一般）など日本語学の研究が専門です。文体の理論的研究のほか、日本語の書きことばを対象に、表現や文字・表記について考えています。
河野 豊	イギリス文学	専門はイギリス17世紀の散文ですが、夏目漱石も研究テーマとしています。日本の近代文学をつくりあげた作家・詩人への外国文学の影響や翻訳論についても関心を持っています。
高木 伸幸 [※]	日本近現代文学	日本近現代文学、特に井上靖、梅崎春生など、昭和作家の文学が研究テーマです。作家が如何なる材料を用い、どのように小説を創り上げたのか、文学作品の構造を分析するとともに、小説に表されたモチーフを社会状況との関わりに注目しながら論じております。
橋本 正志	日本近代文学	「山月記」などで知られる昭和作家・中島敦の文学をテーマにしています。とくにアジア・太平洋を舞台にした作品と発表された時代社会との関わりについて研究しています。
森脇 茂秀 [※]	日本語学 日本語史	専門は日本語史で、希望表現、比況表現等の史の変遷過程を明らかにすることが研究の大きな柱ですが、現在はアスペクト形式の史の変遷過程に興味があります。
山野 敬士	アメリカ文学	アメリカ南部の文学を主に研究しています。最近では日米の作家の影響関係や現代アメリカ文学に描写される日本の姿、また、日本文学の英語翻訳などにも興味があり、分析や考察を行っています。

〈史学・文化財学専攻〉

氏名	専門分野	自己紹介
飯坂 晃治	西洋史 (古代ローマ史)	古代ローマ帝国の統治構造について、皇帝権力と帝国の基本単位である都市の関係に注目しながら分析し、ローマ帝国の没落に関する従来説の見直しを進めています。
上野 淳也 [※]	歴史考古学	世界史の中に戦国時代の日本を位置付けるべく研究をしています。大学院では、文献解題を通して、対話形式で、考古学を実践する上で自覚しておくべき思索の方法を皆さんに講義します。
佐藤 孝裕 [※]	西洋史 (先コロンブス期中南米)	先コロンブス期中南米の歴史を研究しています。特に、4世紀頃から10世紀頃までのマヤ地域の王朝史について、碑文史料や人類学的手法を用いて解明しようと努めています。
白峰 旬 [※]	日本近世史	日本近世史の演習などを担当しています。これまで指導してきた修士論文のテーマは、豊臣政権の時代や江戸時代前期における各種のテーマでした。大学院生が取り組む修士論文のテーマに沿った指導をおこなっていきたくと考えています。
田中 裕介 [※]	日本考古学	大分県内をフィールドに古墳時代から近世の政治や社会を研究しています。古墳の発掘調査やキリシタン墓地の調査をおこなって大学院ではその成果を院生とともに研究しています。
友永 植 [※]	中国史	中国史における所謂「唐宋変革」を眺みながら、唐から宋にかけての政治・制度の変化を研究しています。特にこの時代の内官や側近官僚の動静を分析し、宋朝皇帝独裁体制との関わりを研究しています。
中山 昭則 [※]	人文地理学 観光地理学	地域資源の観光的活用の構築について研究しています。大学院の授業では、地域資源を見出してその有用性を構築するスキルを伸ばすことに重点を置きます。つまり現地調査を通じてその技を磨いていきます。
針谷 武志 [※]	アーカイブズ学 日本近現代史	アーカイブズ学では、アーカイブズ教育実践、およびアーカイブズに記される文字の書体、文章の文体について関心があります。日本近現代史では幕末維新期の政治外交分野を研究しています。
宮崎 聖明	中国史	近世中国（宋代以降）の政治史・政治制度史を専門としています。官僚制度の理念と運用実態の関係や、官僚の下で文書の作成・管理を行う事務職である胥吏などについて研究を行っています。
渡辺智恵美 [※]	保存修復 保存科学	埋蔵文化財の保存修復と自然科学的調査が専門です。調査機器を用いて「もの言わぬ文化財」から情報を引き出し、修理に役立てるとともに材質や製作技法等を明らかにします。古代の金工技法の解明が研究テーマです。
玉川 剛司	日本考古学	弥生時代～古墳時代の研究をしています。特に古墳時代では古墳の外部構造や内部主体から被葬者像についての研究をしています。最近では、弥生時代の中期初頭の青銅器の鋳型や出土品の3D計測を行い、同範の研究など3D技術を取り入れた調査研究も進めています。
福西 大輔	日本民俗学	民俗学では、民間信仰・民俗芸能・民具を研究してきました。特に水をめぐる信仰、人神信仰、産習俗、近代短床蓆、民具を使った回想法などの調査研究を行ってきました。民俗の変容と再編に関心を持っています。
赤松 秀亮	日本中世史	日本中世における荘園・村落の景観復原が研究テーマです。領主が徴税のために作成した土地台帳である檢注帳の数的・地理的分析に関心があります。

〈臨床心理学専攻〉

氏名	専門分野	自己紹介
齊藤 哲也	非行・犯罪心理学、心理的アセスメント、臨床心理学	司法領域における心理的アセスメント（面接、行動観察、心理検査）及び近接領域における連携が関心の中心です。
西村 靖史	神経科学、精神薬理学	脳の中で起こる神経科学的な現象と、心理学の関係から、心理臨床の可能性や協業について関心を持っています。
矢島 潤平	臨床心理学、ストレス、緊急支援	研究は、ストレスをメインテーマとして実験・調査・介入を実施しています。講義では、認知行動療法を基盤としたカウンセリング法をレクチャーしています。臨床活動としては、心理教育、危機介入、支援者の支援を中心に心理支援を行っています。
石川須美子	臨床心理学、発達障害、心理劇	自閉症スペクトラム障害を対象にした研究を行っています。主に、心理劇や動作法といった心理臨床学的アプローチを行っており、自閉症スペクトラム障害児・者の自己理解・他者理解を促進させるアプローチ方法について研究をしています。
川崎 隆	臨床心理学、質的研究、学生相談	質的研究、認知行動療法、多職種協働、学生相談、地域援助等をキーワードに研究をしています。心理学的援助は、基本的に認知行動療法を用いて行っています。
日和 恭世	ソーシャルワーク	ソーシャルワークの専門性に関する研究を行っています。ソーシャルワーカーの思考過程、省察の実践などをキーワードにソーシャルワーク実践の可視化を目指しています。
榊原 有紀	臨床心理学、精神科臨床、グループ心理療法	集団心理療法を中心に精神科リハビリテーション実践を通じた研究を行っています。そのほか、対人援助職を対象としたグループアプローチによる支援や教育方法の開発、投影法による心理アセスメントなどが研究のキーワードです。

食物栄養科学研究科

〈食物栄養学専攻〉

氏名	専門分野	自己紹介
梅木 美樹	調理学	大分県内で生産される食品を主な研究対象とし、それらの食品の調理性を科学的に明らかにするとともに、おいしく食べられる新たな調理方法の開発に取り組みたいと考えています。大分県の食文化の伝承につながる研究を目指しています。
大坪 素秋	分子生物学 細胞生物学	私たちの体を構成する細胞のほとんどは増殖を停止しています。この細胞の増殖の制御が壊れるとガンが生じます。ガン細胞の増殖をうまく制御できる新しいガンの治療法を目指した研究を行っています。大学院で自分が一生情熱をもって打ちこめるものを見つけてください。
木村 靖浩	食品機能学 栄養生理学	様々な疾患モデル動物を使って生活習慣病などの予防や進展防止に利用できる食品機能性成分の探索研究を行っています。実験研究は失敗することが多くありますが、失敗から得るものも多く、地道な努力により良い成果が出たときの喜びは、また格別です。
坂本 幸司	食品工学、 香りの科学	香りの成分分析に加えて、基原物質からの成分の抽出、吸着や徐放など、物理化学的なアプローチを取り入れた研究を行います。香り科学に関連する応用技術の開発も目指します。
陶山 明子	応用微生物学、 分子生物学	酵母、細菌、麹菌などの微生物を用いて、アルコール類、有機酸、タンパク質などの有用物質生産と、それらに関与する代謝系の遺伝子やタンパク質の機能を研究します。
仙波 和代	感染免疫学 代謝免疫学	感染免疫学や食品機能学の研究を行っています。細胞や実験動物を対象にした実験研究になります。ご興味のある方は是非一緒に研究しませんか？
高松 伸枝	臨床栄養学／食物アレルギー	食物アレルギーの原因となる抗原タンパク質の解析やヒト血清を用いた抗原抗体反応について研究をしています。抗原の特性を知ることで、低アレルゲン化食品の開発や小児期の食のQOLの維持に繋がる栄養食事指導の確立をめざしています。
樋園 和仁	病態栄養学	研究テーマとしては、高齢入院患者の栄養状態と栄養アセスメントなど、病態栄養学を中心とした研究テーマとしています。また、血液内科学、血栓止血学についての研究等、病態栄養学や医学関連で興味があるテーマがあれば、課題として取り入れます。
藤原 秀彦	微生物生態学	環境浄化、適応進化、微生物変換をテーマに研究を行っています。分解遺伝子の水平伝播現象を通じて微生物の遺伝子進化や、分解遺伝子を利用した新規化合物の生産を目指しています。
平川 史子	応用栄養学	病院とプロ野球球団の管理栄養士として働いた経験を生かし、ライフステージでの健康維持・増進、疾病予防と食生活の関係やアスリートの競技力向上と栄養摂取のあり方を研究しています。自らが「食育推進の担い手」となる夢と覚悟を持っている方、大歓迎です。
宮戸 真美	分子生物学 内分泌学	哺乳動物を対象に内分泌（ホルモン分泌）機構の研究をしています。遺伝子工学、データサイエンス学、プレゼンテーションと論文作成について学びます。
吉村 良孝	応用健康科学 運動生理学	①地域における運動を中心としたヘルスプロモーション活動について（中高年者を対象）②動脈硬化度と年齢、性別、血液生化学検査値、食習慣、運動習慣等との関係について③大学生の身体活動量、体力、身体組成、精神的健康度の関係について（主に隠れ肥満の成因と解消）④剣道選手の血液性状と栄養素等摂取状況について
中村 弘幸	公衆栄養学、栄養疫学、健康科学	行政栄養における政策施策立案のポイントとなる栄養調査等の地域診断に関する研究を行っています。疫学的な分析を行い、その結果を基にした効果的な取組みを検討します。

※は博士後期課程指導教員を兼ねる

博士前期課程、修士課程合格者対象 長期履修制度

1. 申請資格

博士前期課程、修士課程の合格者のうち、下記の条件のいずれかに該当する者。ただし、外国人留学生は除く。

- ①職業を有している者
- ②育児、長期介護等の事情がある者
- ③その他やむを得ない事情（身体の障がい、疾病等）を有し、標準修業年限で修了することが困難であると学長が認めた者

2. 申請書類及び提出期限

申請する者は、合格通知と同封している下記の書類を期限内に提出すること

- ・申請書類
 - ①長期履修申請書
 - ②履修計画書
 - ③その他学長が必要と認める書類
- ・提出期限
 - 1期・2期：2025年3月7日(金)
 - 3期：2025年7月17日(木)

3. 学納金の納入

P.3の納入金のうち、入学金と委託徴収金を除いた授業料と教育研究料を長期履修年限に応じて納入できる。ただし、最大4年間とする。

* 4年間の長期履修の場合

文学研究科

単位：円

学 年	徴収期	授業料	教育研究料	合 計
1年目	前 期	100,000	100,000	200,000
	後 期	100,000	0	100,000
2年目	前 期	100,000	100,000	200,000
	後 期	100,000	0	100,000
3年目	前 期	100,000	100,000	200,000
	後 期	100,000	0	100,000
4年目	前 期	100,000	100,000	200,000
	後 期	100,000	0	100,000
合 計		800,000	400,000	1,200,000

食物栄養科学研究科

単位：円

学 年	徴収期	授業料	教育研究料	合 計
1年目	前 期	100,000	200,000	300,000
	後 期	100,000	0	100,000
2年目	前 期	100,000	200,000	300,000
	後 期	100,000	0	100,000
3年目	前 期	100,000	200,000	300,000
	後 期	100,000	0	100,000
4年目	前 期	100,000	200,000	300,000
	後 期	100,000	0	100,000
合 計		800,000	800,000	1,600,000

4. 履修単位の上限 1年間に15単位とする